

2004年度 ANA グループ 航空運送事業計画を策定

～ 国際線では、杭州線の新規路線など中国路線を更に拡充 !! ～

～ 国内線では、ANA・エア・ニッポン・エア・ニッポンネットワークの全便を対象に、便名を ANA に統一 !! ～

ANAグループでは、2004年度(2004年4月1日～2005年3月31日)の航空運送事業計画を策定いたしました。

国際線では、イラク戦争・新型肺炎(SARS)による影響から回復し、2004年サマーダイヤ以降の中国線ネットワーク拡充、2005年2月の中部国際空港の開港など、中国を中心としたアジアへのネットワークを拡充いたします。

国内線では、2004年4月より、ANA・エア・ニッポン(ANK)・エア・ニッポンネットワーク(A-net)の国内路線全便の便名を「ANA」に統一いたします。2004年12月、羽田空港では新しい旅客ターミナルに移転し、お客様に対して「ANAらしさ」をアピールするチャンスを迎えます。

ANAグループでは、このような新しい経営環境の中でビジネスチャンスを勝ち取るべく、2004年度ANAグループ航空運送事業計画を、以下の通り、策定いたしました。

1. 国際線事業の概要...中国を中心としたアジアへのネットワークを拡充

- (1) **中国路線の新規開設で増便**...成田 - 杭州線・関西 - 杭州線・成田 - 瀋陽線を新規開設し、週あたり計112往復と中国路線のネットワーク規模を1.3倍の便数(昨年同時期89便)に拡充。
- (2) **中部国際空港の開港**...2005年2月開港当初より、中部 - 上海・仁川線の計週14便を運航。

2. 国内線事業の概要...需要に応じたネットワークを編成

- (1) **羽田 - 伊丹線**...2004年4月より1往復/日増便(13 → 14往復/日)。
- (2) **エア・ニッポンネットワーク(A-net)による伊丹空港プロペラ事業を拡充**
...伊丹 - 高知線で、全便プロペラ機とし、増便(4月～13往復、以降順次14往復に増便)。

3. 国際線および国内線の生産量

事業規模前年比	国際線(ANK便含む)	国内線
運航回数	112%	99%
座席口	102%	96%

各項目の詳細は次葉以降をご参照ください。

当計画は関係官庁の認可取得を前提としております。

1. 国際線事業(便数表示は全て1週間あたりの往復ペース)

(1) 中国路線の増便

杭州線の新規開設(成田 = 杭州線週4便・関西 = 杭州週3便)など旅客需要、貨物需要の旺盛な中国路線を更に増強し、**就航路線数は17路線**となります。

従来より運航している関西 = 瀋陽線の週2便に加え、成田 = 瀋陽線を新設し(週3便運航)、日本 - 瀋陽間を週5便体制といたします。

2004年サマーダイヤからの増便分となる週10便を加え**週間112便**と、**中国路線のネットワーク規模を1.3倍の便数(昨年同時期比較)**に拡充いたします。

路線	便数	運航日	運航開始日	運航機種
成田 - 杭州	週4便	月・水・金・土	2004年3月29日	B767-300ER
関西 - 杭州	週3便	火・木・日	2004年3月28日	B767-300ER
成田 - 瀋陽	週3便	火・木・日	2004年3月28日	B767-300ER

(2) 中部国際空港の新規開設路線

路線	便数	運航開始日	運航機種
中部 - 上海	週7便	2005年2月17日	B767-300ER
中部 - 仁川	週7便	2005年2月17日	A320・A321

(3) 貨物事業

中型貨物専用機のB767-300Fの機材を使用し、引き続き上海線、大連線、天津線など中国路線に、週間12便の運航を予定しております。

2. 国内線事業(便数表示は全て1日あたりの往復ペース)

ANAグループでは、2004年4月1日より、ANA、エアーニッポン(ANK)、エアーニッポンネットワーク(A-net)の国内路線全便を対象に、便名を「ANA」に統一いたします。

ANAグループ国内線全便の便名を、「ANA」グループを代表するブランドである「ANA」に統一することにより、お客様にわかりやすく、ANA便をご利用いただけるようになります。2004年上期ダイヤでは、約800便がANA便名となる予定です。

(1) 羽田発着路線...主要幹線である羽田 - 伊丹を増便

路線	実施時期	内容	増減便数	実施後便数
羽田 - 伊丹	4月～	増便	+1便	14便/日

(2) **伊丹発着路線**...エア・ニッポンネットワーク(A-net)による伊丹空港グローバル事業を更に展開します。

路線	実施時期	内容	増減便数	実施後便数
伊丹 - 沖縄	4月～	増便	+1便	3便/日
伊丹 - 高知	4月～	増便	+2便 (グローバル機+4便)	13便/日 (順次14便/日に)

(3) **関西発着路線**...今後需要に応じ、一部の路線で減便を検討します。

路線	実施時期	内容	増減便数	実施後便数
福岡	6月～	増便	+1便	4便/日

(4) **名古屋発着路線**...中部空港の開港時より、国内線も中部空港から就航します。

路線	実施時期	内容	増減便数	実施後便数
名古屋 - 稚内	6～8月	新規路線	+1便	1便/日
名古屋 - 福岡	4月～	増便	+1便	12便/日 (順次14便/日に)
名古屋 - 鹿児島	4月～	増便	+1便	4便/日

(5) **その他路線**

路線	実施時期	内容	増減便数	実施後便数
高松 - 千歳	7～9月	運航再開	+1便	運航期間:7～9月

3. 機材計画

ANAグループの機材に関する新規導入および退役計画は、以下の通りです。

	導入計画	退役計画
	機種および機数	
ANA	B777-300ER(1機)	B747-100SR(5機)
	B777-200(2機)	B767-200(1機)
	B767-300ER(2機)	-
A-net	DHC8-400(2機)	-

以上